

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 7月19日更新

事務事業名	ハンセン病啓発事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開輝久雄
	施策	12 人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	二瀬義継
	施策の柱	43 人権尊重についての理解と相談体制の充実	所属班	啓発教育班	(内線)	5334
予算科目	会計 一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 10860	根拠 法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	ハンセン病を正しく理解する週間に合わせて、講演会等の催しを実施する。講演、菊池恵楓園から借用したパネル展示などを実施している。平成8年の「らい予防法」の廃止を受け、平成9年、町民のハンセン病問題に対する正しい知識の普及・啓発と、また、療養所入所者と市民との相互交流をより進めていくために開始した。取り組みを始めた頃に比べると、市民のハンセン病問題に対する理解は深まってはいるが、人権意識市民アンケート調査ではハンセン病問題の詳細を知らない人もまだまだ多いことから、市民に対する理解と啓発を進めていく必要がある。 前年度(平成29年度)より、社会福祉法人ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業を活用して取組を実施しており、本年度も2月2日に「人権フォーラム2019 in 合志市」の開催し啓発を行った。
【業務の流れ】	①事業内容、日時、場所等の検討と決定。②講師依頼と展示物等の手配。 ③広報、ホームページで講演会開催の周知を図る。(各団体等へ開催案内送付) ④講演会等の実施 ⑤アンケート等の実施。⑥アンケート結果の解析。 ※平成29年度より、社会福祉協会ふれあい福祉協会へのハンセン病対策促進事業の事務手続きを行っている。
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】	議会からは、「市民への周知に工夫をするように」との意見がある。 菊池恵楓園入所者自治会からは、本事業を開催していくことを要望されている。 人権フォーラムのアンケートには、「とても感動して涙がとまりませんでした。同じ過ちを繰り返さないよう、このような学びの繰り返しが必要と思いました。」等の賞賛の声がたくさんあった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	ハンセン病問題啓発事業として、平成31年2月2日(土)に、「人権フォーラム in 合志市」の開催し、市民の啓発に努めた。 参加者 約450名 【基準に達しなかった理由】 社会福祉法人ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業の支援申請を行い、出演者の謝金や旅費等の経費の支援があったため。	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 昨年及び本年は、ふれあい福祉協会のハンセン病対策促進事業で開催したが、次年度もこの事業を活用して実施する予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア:講演会等の開催回数 イ:参加者数	予算の主な増減の理由 ふれあい福祉促進事業を活用したための減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民 市内事業所社員等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア:人口 人 イ:市内従業者数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ハンセン病問題を正しく理解してもらう。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア:正しく理解した参加者の割合 % イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 参加者にハンセン病問題を正しく理解してもらうことが意図のため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標	ア 回		1	1	1	0	1	1	1	1	
	イ 人		200	470	600	450	600	600	600	600	
② 対象指標	ア 人		61,000	61,482	62,000	0	62,000	62,500	63,000	63,000	
	イ 人		18,850	18,000	18,000	0	18,000	18,000	18,000	18,000	
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人 件 費	一般財源	千円	3,593	125	252	48	258	252	252	252
		(A) 事業費計	千円	3,593	125	252	48	258	252	252	252
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	6	4	6	6	6	6
延べ業務時間	時間	300	420	300	200	300	300	300	0		
(B) 人件費計	千円	0	1,661	1,195	788	1,195	1,195	1,195	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,593	1,786	1,447	836	1,453	1,447	1,447	252		

事務事業名	ハンセン病啓発事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 参加者のアンケートからも理解の促進が図られていることがうかがえる。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度も各団体に対し、参加依頼を行う。また、広報紙等により市民に参加を呼びかけていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 参加者の理解促進は図れているので講演会等における成果は満たされているが、開催内容を検討し、さらなる参加者数の向上を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発事業を推進するうえでは、最小限の事業費であり、これ以上の削減はできない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業にも、職員は、少人数で対応しており、内容、講師の設定、他のイベントとの日程の調整に時間を要している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民全般に事業への参加を呼びかけており、また、すべての市民がハンセン病問題を正しく理解することが必要であるため、本事業を開催することは、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権課題啓発は行政の責務であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

被災したヴィーブルがリニューアルされ2年ぶりに文化ホールにおいて実施できた。多くの参加者から「良かった」との声があった。今後も内容と周知方法に工夫をして、より多くの市民にハンセン病問題を正しく理解できる機会の提供に努める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						